

追加関連論文 (ソルビン酸カルシウム)

追 Lang,K. 1960. Die Vertraglichkeit der Sorbinsaure. *Arzneim-Forsch.* 10:997-999.

JECFA において ADI の設定根拠とされた試験成績の一つ。

二世世代試験の第 1 世代として行われた雌雄のラット（各群各 50 匹）にソルビン酸（0、0.1、0.5、5.0%；50、250、2,500 mg/kg 体重/日）を 1,000 日間混餌投与した試験においては、対照群とソルビン酸投与群間で、成長・一般状態・生存期間・死因・繁殖性に差がなかった。

（「A.（2）反復投与毒性」の項）

雌雄のラット（各群各 50 匹）を第 1 世代としてソルビン酸（0、0.1、0.5、5.0%；0、50、250、2,500 mg/kg 体重/日）を 1,000 日間混餌投与し、一部のラットを用いて第 2 世代を用意した二世世代試験では、第 2 世代ラット 30 匹に 5.0% のソルビン酸を 252 日間混餌投与しても投与に起因した組織学的変化は認められず、0.1 あるいは 0.5% のソルビン酸を投与した群でも対照群と比較して成長や繁殖に差がなかった。

（「A.（4）生殖発生毒性」の項）